

平成 1 6 年度
デポジット制度導入実証事業に関する
検討調査報告書

平成 1 7 年 (2 0 0 5 年) 3 月

三重県

目 次

はじめに

第 1 章 鈴鹿サーキットにおける実証事業	1
第 1 節 背景と目的	1
第 2 節 実施概要	1
1. 場所及び期間	1
2. リユースカップの様態	3
3. 対象飲料	3
4. デPOSIT及び回収のしくみ	3
5. 洗浄・保管方法	4
6. 広報・周知など	4
7. 利用者アンケート	5
8. その他	5
第 3 節 実施結果	6
1. 飲料販売量	6
2. リユースカップ返却・回収率	7
3. デPOSIT及び回収システム等運用面について	7
4. 洗浄・保管及び衛生面について	8
5. ごみの減量効果	8
6. 経費面について	9
7. 利用者の反応（アンケート結果）	10
第 4 節 実証事業における課題	13
1. 圧倒的に多かった使い捨て容器	13
2. 部分的導入では効果も限定的	13
3. 部分的導入による実施上の混乱	13
4. デPOSIT制度導入にかかる経費とデPOSITの必要性	14
5. 来場者へのわかりやすいシステム説明・周知	14
6. リユースカップの改善	15

第2章 実証事業から見えてきた課題と可能性	16
第1節 リユースカップによるデポジット制度の導入に関する課題...	16
1. 廃棄物の発生抑制と環境負荷低減への課題	16
2. 循環型社会構築に向けた意識醸成と制度理解のための課題	16
3. 販売・営業面での影響と運営上の課題	16
4. 容器形状等の検討と清潔・衛生の担保	17
第2節 鈴鹿サーキットにおける導入可能性の考察	17
1. 100%の回収率	18
2. 導入の可能性とメリット	18
3. デポジット制度の必要性	19
4. 運営体制による導入調整の必要性	20
5. 収支面	20
6. その他	21
第3章 リユースカップの環境影響評価	23
第1節 実施にあたって	23
第2節 ライフサイクルアセスメント（LCA）概要	23
1. システム範囲と前提条件	23
2. シナリオ設定	24
3. 環境負荷項目	25
第3節 各環境負荷項目における分析結果	25
1. エネルギー消費量	25
2. CO ₂ 排出量	25
3. 水消費量	27
4. 固形廃棄物発生量	27
5. 使用回数によるエネルギー消費量の変化	29
第4節 まとめ	30
おわりに	31

< 資料編 >

実証事業関連

資料 1	実証事業実施エリア図	32
資料 2	リユースカップ対象飲料及び使い捨て容器入り飲食品一覧	33
資料 3	リユースカップ及び使い捨て容器入り飲料の販売量	36
資料 4	リユースカップ返却・回収量	37
資料 5	鈴鹿サーキットにおけるごみ排出量と処理費用	38
資料 6	リユースカップ利用者へのアンケート票	39
資料 7	実証期間中及び期間後のプールエリアにおけるごみ組成	40

LCA 関連

資料 8	PLA リユースカップフロー図	41
資料 9	PP リユースカップフロー図	42
資料 10	紙カップフロー図	43
資料 11	PLA カップの各環境負荷量の削減率（紙カップを 100 とした場合）	44

リユースカップ導入事例

資料 12	三重県におけるリユース導入事業	45
資料 13	サッカー場及びコンサート会場等での導入例	48